

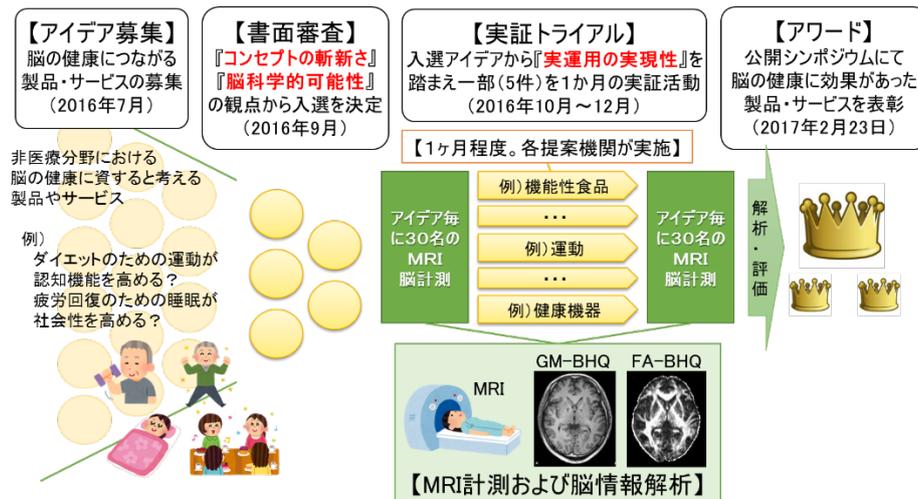
(参考資料2)

■2016 年度 BHQ チャレンジの取り組みと結果の詳細について

・BHQ チャレンジのプロセス

2016 年度の BHQ チャレンジでは、2016 年 7 月にアイデア募集を行い、同年 9 月に有識者による書面審査を行い、同年 10 月から 12 月にかけて、書面審査通過各社と当プログラムとの連携により実証トライアルを行いました。今回の発表は、この実証トライアルの結果について公表するものです。

実証トライアルにおいては、アイデア毎に 30 名の実験協力者に参加いただき、アイデアに基づく 1 カ月間の取り組みを行った前後で MRI 計測による脳情報の取得を行います。その後、当プログラムにおいて開発した解析システムにより、脳情報から BHQ の算出を行います。



・書面審査の結果(2016 年 12 月 20 日報道発表)

理化学研究所 ライフサイエンス技術基盤研究センター 渡辺恭良センター長を審査委員長とした、脳科学者や医師、ベンチャーキャピタリストが参加した審査委員会により、以下の 5 件のアイデアを入選アイデアとして採択しています。

- ・抹茶摂取による認知機能改善効果 (株式会社伊藤園)
- ・手書き習慣が脳に与える影響を知る (ココヨ株式会社)
- ・コラーゲンペプチドの摂取による脳機能改善効果の検証 (新田ゼラチン株式会社)
- ・ラベンダーハンドマッサージのストレス軽減により脳の健康度アップ (公益社団法人日本アロマ環境協会)
- ・脳科学的アプローチによるユーグレナ摂取の効果検証及び潜在的な機能性の予測 (株式会社ユーグレナ)



・実証トライアルの結果

実証トライアルにおける脳情報解析の結果を以下に示します。

図中に示されている%は、参加者の中で BHQ の値の増加した人の比率で、その横に示している数値は BHQ が増加した人におけるその増加量（指標換算）の平均になります。コラーゲンペプチドとラベンダーハンドマッサージにおいて、FA-BHQ の値が1ヶ月間の取り組みの前後で有意に増加することが確認されました。



(参考資料3)

■BHQ チャレンジのこれまでの結果について

□2015 年度 BHQ チャレンジについて(2015 年 10 月 8 日、2016 年 3 月 1 日報道発表)

・書面審査の結果

応募アイデアより、有識者による審査委員会の審査を経て、入選アイデアとして採択したものは以下の通り。

機能的食品・植物由来成分関連

- ・パプリカキサントフィルの摂取は、赤血球の酸素運搬機能を高め、高齢者の脳機能の維持・向上に役立つ（江崎グリコ株式会社・一般財団法人生産開発科学研究所）
- ・ビール苦味成分イソフムロンによる生活習慣病予防を通じた認知機能改善効果（キリン株式会社）
- ・バランス活性乳酸菌SBL88による脳健康効果の検証（サッポロビール株式会社）
- ・アロマセラピーによる認知症予防メカニズムの解明（鳥取大学 医学部保健学科 生体制御学講座）
- ・ユズ精油の嗅覚刺激が脳の認知機能に及ぼす影響（公益社団法人 日本アロマ環境協会）

運動・ワークショップ関連

- ・オフィスでの定期的な軽運動が脳へ及ぼす効果検証（ココヨ株式会社）
- ・卓球による脳への刺激が認知機能を格段に向上する（株式会社タマス）
- ・美しい脳プロジェクト「脳のいきいき健康教室」（株式会社ドクタープラネット）
- ・ストレス軽減を目指した「臨床美術」プログラムの脳機能の活性化に関わる検証（凸版印刷株式会社）

ウェアラブル機器関連

- ・ウェアラブルデバイスにより身体の歪みを正すことで集中力を向上させる！（株式会社Sassor）
- ・身体エクストラパーツのイメージトレーニングによる脳活動の変化（セイコーエプソン株式会社）
- ・女性の悩みを軽減するピンクレンズのメガネで脳も健康に！！（東海光学株式会社）



入選のうち5件(□で示したものを)を実証トライアル参加アイデアとして採択

・実証トライアル結果の詳細

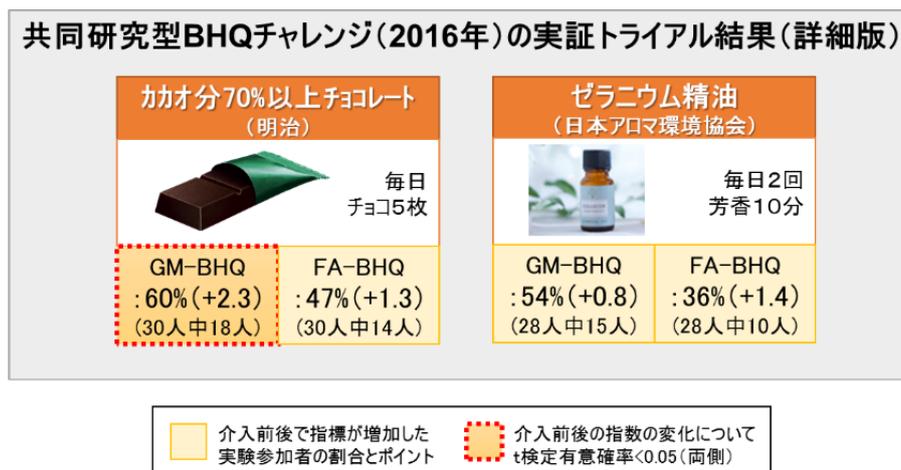
入選アイデアより 5 件を実証トライアル対象アイデアとして選定し、実施した。オフィスストレッチにおいて、FA-BHQ の値が1ヶ月間の取り組みの前後で有意に増加することが確認されています。



□2016 年度のその他の BHQ チャレンジの結果について

2016 年度に行った、その他の BHQ チャレンジの実証トライアルの結果は以下の通り。

カカオ分 70%以上チョコレートにおいて、GM-BHQ の値が1ヶ月間の取り組みの前後で有意に増加することが確認されています。(カカオ分 70%以上チョコレートについては、2017 年 1 月 18 日に株式会社明治と共同報道発表済)



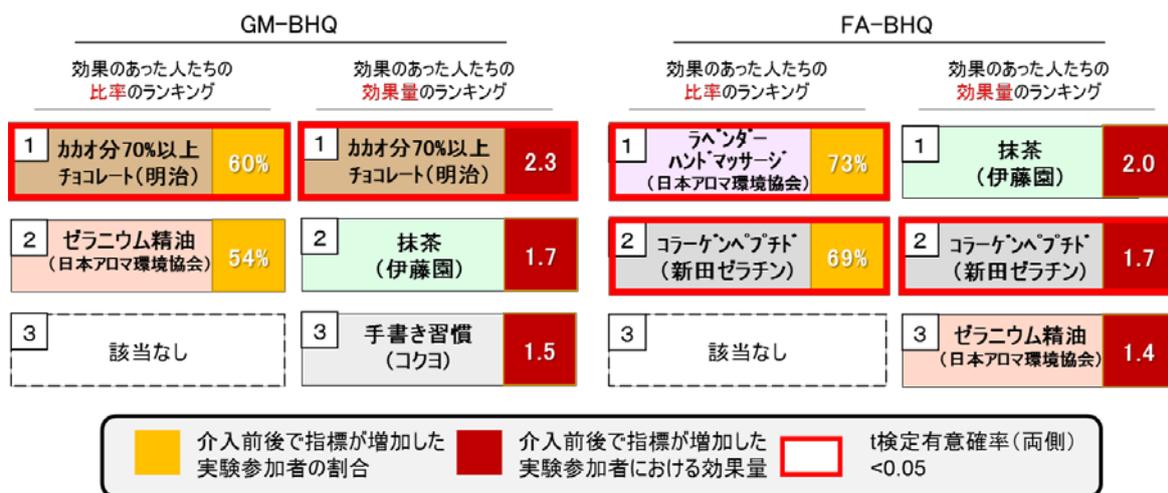
(参考資料4)

■BHQ チャレンジ結果のまとめ

BHQという指標を利用することで、これまで相互に比較ができなかったような様々な分野の製品・サービスについて比較が可能となります。以下、相互比較結果を示す一つの方法であるランキング形式にて結果のまとめを示します。当プログラムとしては、これらの結果をふまえて、それぞれの人に合った脳の健康促進の取り組みを見つける一助としていただきたいと思います。

・2016 年度の結果のまとめ

2016 年度の BHQ チャレンジの結果のまとめについてランキング形式にて示します。



注)ランキングについては、単純集計に過ぎず統計的な検定結果ではないことを注意してください。

・2015 年度～2016 年度の結果のまとめ

今回の結果を含めたこれまでの結果のまとめについてランキング形式にて示します。



注)ランキングについては、単純集計に過ぎず統計的な検定結果ではないことを注意してください。